



東マレーシアの投資環境

日本貿易振興機構（ジェトロ）

クアラルンプール事務所

2022年3月

目次

1. 基本情報 — 人口（地区別、民族別）、世帯収入
2. 雇用
3. 政治体制
4. 主な経済指標（GDP、貿易、投資）
5. 東マレーシアの重点産業分野
6. 東マレーシアの有望分野
7. バイオマス／バイオテクノロジーの主なプロジェクト
8. 東マレーシアにおける主な投資インセンティブ
9. 東マレーシアの工業団地
10. インフラプロジェクト
11. 東マレーシアの主要な地場企業
12. 東マレーシアに拠点を持つ主な外資系企業

1 | 基本情報 — 人口

- 東マレーシアは、マレーシアの**国土の60%**、**人口は21%**を占める。サラワク州の上位4都市及びサバ州の上位3都市で、各州の世帯収入上位20%がそれぞれ72%と53%を占める。
- マレー半島に比べて人口密度が低い（マレー半島部は194人 /km²）ため、商品の輸送・流通にかかる費用が高額になる傾向にある。交通インフラについてもマレー半島部と比べて広範に発達していない。

マレー半島部



マレー半島部（参考）：

人口 2,583万人

人口が多い州

1. セランゴール 654万人
2. ジョホール 391万人
3. ペラ 251万人
4. ケダ 219万人

サラワク州：

人口 286万8,600人

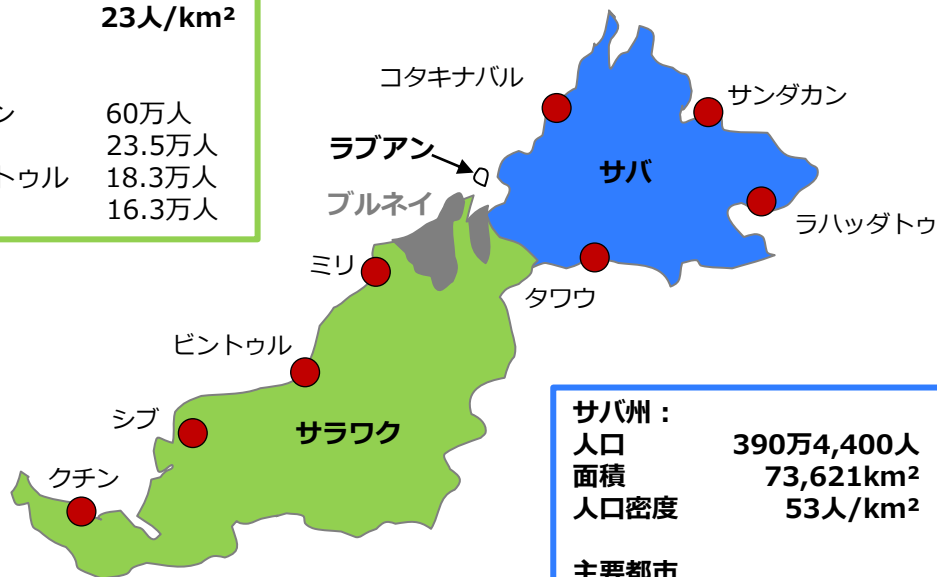
面積 123,450km²

人口密度 23人/km²

主要都市

1. クチン 60万人
2. ミリ 23.5万人
3. ビントウル 18.3万人
4. シブ 16.3万人

東マレーシア



サバ州：

人口 390万4,400人

面積 73,621km²

人口密度 53人/km²

主要都市

1. コタ・キナバル 45.2万人
2. タワウ 39.8万人
3. サンダカン 39.6万人
4. ラハッド・ダトゥ 20.0万人

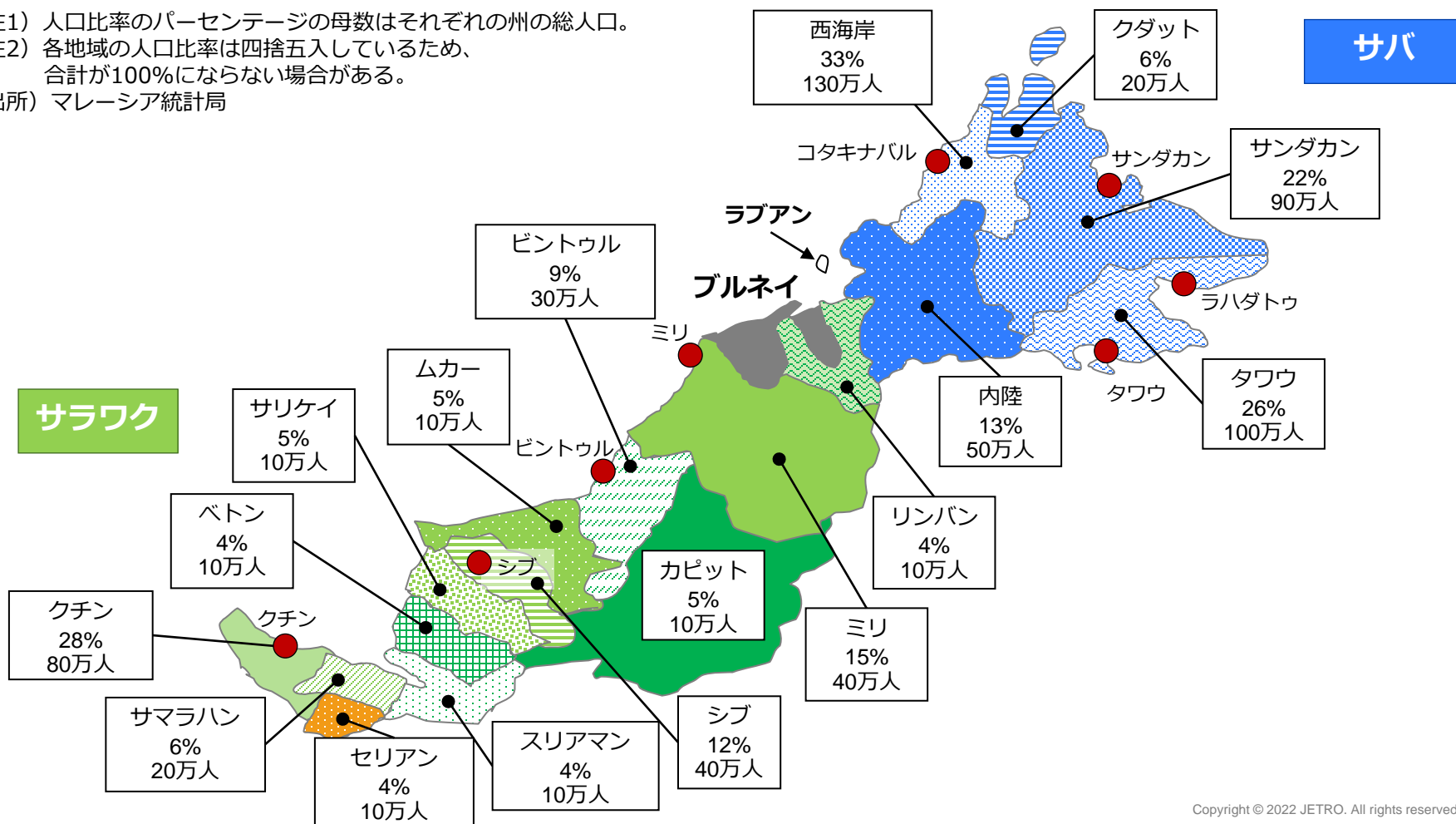
1 | 基本情報 — 地区別人口

- **サラワク州** - 南西部のクチン区とサマラハン区、北東部のミリ区とビントウル区の沿岸地域に集中している。
- **サバ州** - 西海岸、サンダカン、タワウ区の主要な沿岸都市に集中している。

(注1) 人口比率のパーセンテージの母数はそれぞれの州の総人口。

(注2) 各地域の人口比率は四捨五入しているため、合計が100%にならない場合がある。

(出所) マレーシア統計局



1 | 基本情報 — 民族別人口

- サラワク州、サバ州ともに、マレー半島部と比較して、多様な人種と民族グループが存在している。
- サラワク州では中華系が24%を占め、サバ州では約3割がフィリピンやインドネシアからの移民が占める
- サラワク州では、キリスト教徒が人口の39%を占める。次いで、イスラム教（37%）、仏教、ヒンズー教、シーク教が続く。サバ州では、イスラム教徒が最多（65%）で、キリスト教（27%）と仏教（6%）が続く。

サラワク州

民族グループ	人口（千人）	比率
ブミプトラ - イバン族	822	29%
ブミプトラ - マレー系	661	23%
ブミプトラ - ビダユー族	223	8%
ブミプトラ - メラナウ族	147	5%
ブミプトラ - その他	186	6.5%
中華系	635	22%
その他（マレーシア人）	17	0.5%
外国人	179	6%
合計	2,869	100%

サバ州

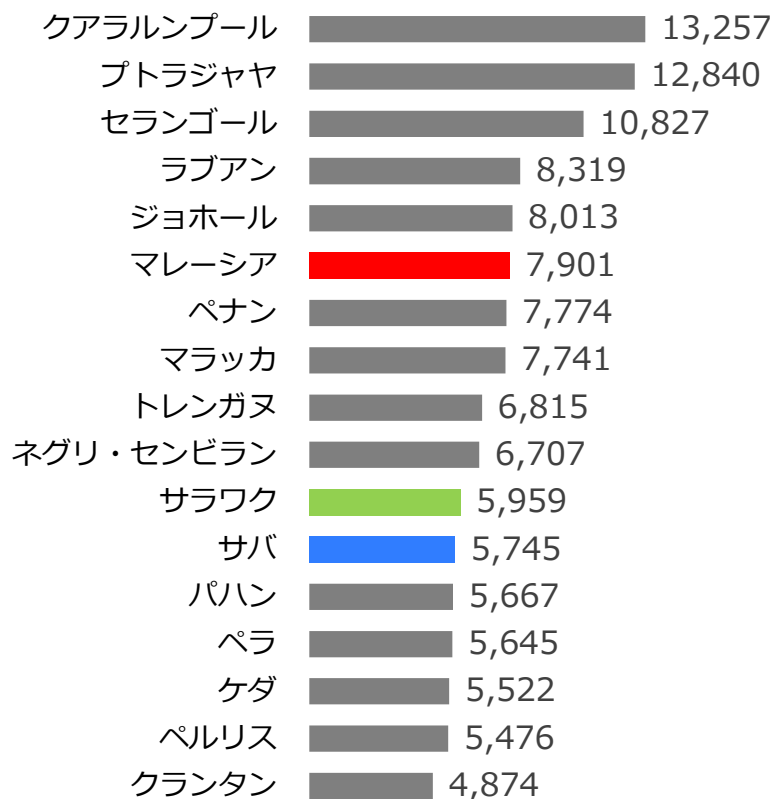
民族グループ	人口（千人）	比率
ブミプトラ - カダザン・ドゥスン族	674	17%
ブミプトラ - バジャウ族	534	14%
ブミプトラ - マレー系	218	6%
ブミプトラ - ムルット族	124	3%
ブミプトラ - その他	782	20%
中華系	307	8%
インド系	13	0.3%
その他（マレーシア人）	127	3%
外国人	1127	29%
合計	3,904	100%

（注）「ブミプトラ」とは、「土地の子」を意味し、マレー系及び先住民族の総称。（出所）マレーシア統計局、DIA 推定 Copyright © 2022 JETRO. All rights reserved.

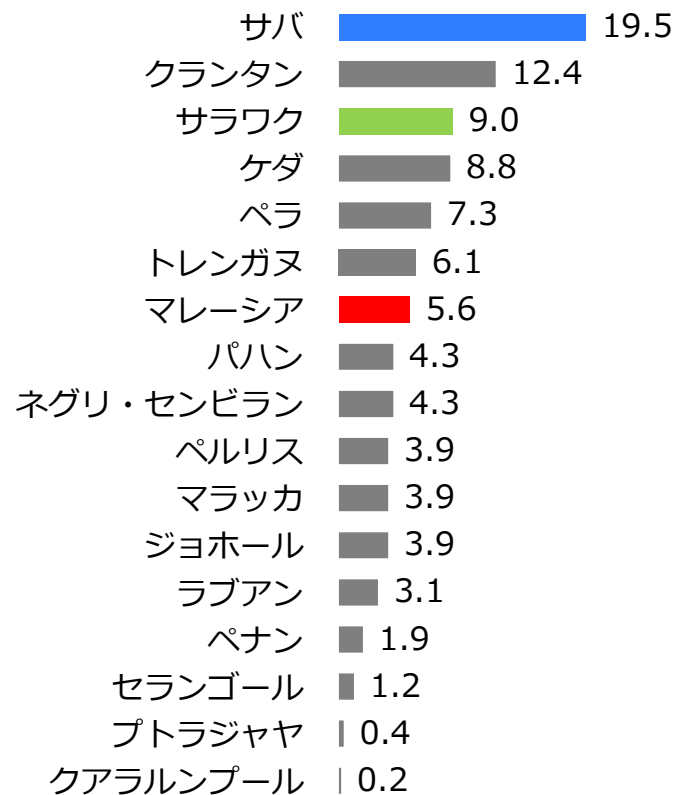
1 | 基本情報 — 世帯収入

- 世帯平均収入は、セランゴール州、クアラルンプール、ペナン州、ジョホール州などのマレー半島部の州と比較すると低い傾向にある。
- 東マレーシアは、都市部と農村部の所得格差が大きいいため、絶対貧困率が高い傾向にある。

平均世帯月収（リンギ）2019年



絶対貧困率（%）2019年



(注) 「平均世帯月収」と「絶対貧困率」は5年に2回程度の頻度で発表。次は2023年に発表予定。(出所) マレーシア統計局

2 | 雇用一産業別雇用人数比率

- **サラワク州**：農林水産業における雇用人数が約2割と最も多いが、比率は徐々に低下している。対照的に、州政府が重工業の開発と観光に重点を置いていることにより、製造業および宿泊施設・飲食業での雇用人数は増加傾向にある。
- **サバ州**：サラワク州と同様に、農林水産業における雇用人数が26%と最も多いが、比率は減少傾向にある。観光、パーム油および石油・ガスの下流製造業の開発が進み、これら産業への従事者が増加傾向にある。

サラワク州の産業別雇用人数比率	2016 (%)	2019 (%)
農林水産業	24.7	20.8
卸・小売、商社、自動車修理	14.3	14.5
製造業	11.0	13.9
建設業	10.9	10.7
宿泊施設・飲食業	6.9	7.9
教育	7.3	6.5
行政と防衛	6.6	6.1
管理およびサポートサービス活動	4.0	4.5
運搬・保管業	3.8	3.9
健康・社会活動	2.9	2.9
専門家・科学・技術活動	1.4	1.7
その他のサービス業	1.3	1.5
鉱業・採石業	1.0	1.1
金融・保険	1.1	1.0
情報・通信	0.6	0.9
水供給・下水道・廃棄物管理など	0.4	0.6
雇用主としての世帯活動	0.8	0.5
電気、ガス、蒸気、エアコンの供給	0.6	0.5
芸術・エンターテインメント・レクリエーション	0.4	0.4
不動産	0.1	0.3

サバ州の産業別雇用人数比率	2016 (%)	2019 (%)
農林水産業	31.9	26.0
卸・小売、商社、自動車修理	17.8	19.1
製造業	9.7	9.9
建設業	7.2	8.7
宿泊施設・飲食業	7.7	8.6
管理およびサポートサービス活動	3.5	5.3
教育	4.8	5.3
行政と防衛; 強制社会保障	4.7	4.1
運搬・保管業	3.6	3.4
健康・社会活動	2.5	2.3
その他サービス業	1.5	1.7
雇用主としての世帯活動	1.2	1.5
専門家・科学・技術活動	0.9	1.0
金融・保険・イスラム保険	0.7	0.7
芸術・エンターテインメント・レクリエーション	0.5	0.6
鉱業・採	0.4	0.4
電気、ガス、蒸気、エアコンの供給	0.4	0.4
情報・通信	0.4	0.4
水供給・下水道・廃棄物管理など	0.3	0.3
不動産	0.2	0.2

3 | 政治体制ーサラワク州

■ 州元首

- 州元首は、アブドゥル・タイプ・マフムード（2014年～現在）。
- 統一ブミプトラ伝統党(PBB)に所属する。
- サラワク州の元首は、州首相の助言に基づいて行動する。
- 州首相と協議のうえ、国王によって任命される。任期は最大5年間だが、国王は任期を延長する権限を留保する。

■ 州首相

- アバン・ジョハリ州首相※（2022年3月～現在）（2017年1月～2022年2月までは同氏が州知事だった）。
- サラワク州最大政党である統一ブミプトラ伝統党(PBB)の党首および、与党連盟のサラワク政党連合(GPS)の会長でもある。
- サラワク州首相は、サラワク州政府の行政機関の長である。
- 州元首は、州首相の判断で過半数の支持を持っている州議会の議員を任命しする。

※注：サラワク州議会は2022年2月15日に、州知事(Chief Minister)の名称から州首相(Premier)に変更する同州憲法改正案を可決した。

■ 連邦政府との関係

- マレーシア連邦議会の222議席のうち、31議席（14%）を占める。

第19回サラワク州立法議会（2021年12月～）

連立	政党名	議席数	
サラワク 政党連合 (GPS) (与党)	統一ブミプトラ伝統党(PBB)	47	76
	サラワク統一人民党 (SUPP)	13	
	サラワク人民党 (PRS)	11	
	進歩民主党 (PDP)	5	
希望連盟 (野党)	民主行動党 (DAP)	2	5
	人民正義党 (PKR)	-	
その他 (野党支持)	サラワク統一党 (PSB)	3	
その他	無所属	1	1
合計		82	

3 | 政治体制ーサバ州

■ 州長

- 州長は、ジュハル・マヒルディン(2011年1月～現在)。統一マレー国民組織(UMNO)サバ支部の創立メンバーである。
- サバ州の州長は、州首席大臣の助言に基づいて行動する。
- 州首席大臣と協議のうえ、国王によって任命される。任期は4年だが、国王は任期を延長する権限を留保する。

■ 州首席大臣

- ハジジ・ノール(2020年9月～現在)。マレーシア統一プリブミ党(BERSATU)所属。
- サバ州の首席大臣は、サバ州政府の行政機関の長である。
- 州長は、州首席大臣の判断で過半数の支持を持っている州議会の議員を任命する。

■ 連邦政府との関係

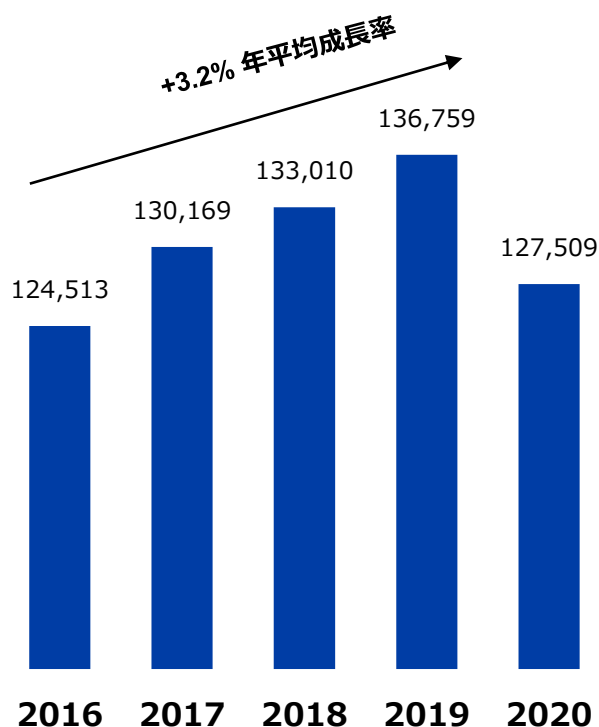
- マレーシア連邦議会の222議席のうち、24議席(11%)を占める。

連立	政党名	議席数	
サバ 国民連合 (GRS) (与党)	マレーシア統一プリブミ党 (BERSATU)	16	30
	サバ団結党 (PBS)	7	
	サバ人民祖国連帯党 (STAR)	6	
	サバ進歩党 (SAPP)	1	
その他 (与党支持)	統一マレー人国民組織 (UMNO)	17	23
	汎マレーシア・イスラーム政党 (PAS)	1	
	社会民主調和党 (KDM)	2	
	人民希望党 (PHRS)	1	
	全民党 (PBM)	1	
	無所属	1	
WARISAN+ (野党)	サバ遺産党 (Warisan)	18	25
	民主行動党 (DAP)	4	
	人民正義党 (PKR)	2	
	パソモモグン・カダザンドゥスン・ムレット統一組織 (UPKO)	1	
その他	空席	1	1
合計		79	

4 | 経済指標—GDPなど（サラワク州）

- 液化天然ガス（LNG）、原油、パーム油が総輸出の72%を占める。
- 年平均成長率は3%前後。2016年から2019年までの成長はサービス業に牽引された。商品価格の変動が経済成長に大きな影響を及ぼす。

実質GDP成長率（百万リンギ、2015年基準）



産業別実質GDP成長率（百万リンギ表示、2015年基準）

産業	2016	2017	2018	2019	2020	CAGR 16-19	CAGR 16-20	構成比 2020
農業	16,632	16,728	16,614	16,578	14,907	-0.1%	-2.7%	12%
鉱業・採石業	29,253	30,214	29,627	30,013	28,591	0.9%	-0.6%	22%
製造業	33,567	34,811	35,579	36,613	33,465	2.9%	-0.1%	26%
建設業	3,633	4,355	4,402	4,476	4,082	7.2%	3.0%	3%
サービス業	40,982	43,541	46,312	48,761	46,077	6.0%	3.0%	36%
GDP	124,513	130,169	133,010	136,759	127,509	3.2%	0.6%	100%

失業率及び労働参加率

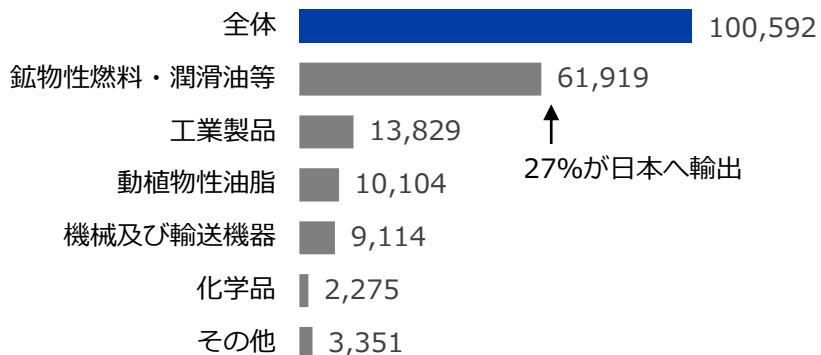
	2016	2017	2018	2019	2020
失業率	3.30%	3.00%	3.20%	3.10%	4.30%
労働参加率（全体）	67.70%	67.80%	67.90%	68.40%	66.90%
労働参加率（男性）	82.40%	81.80%	82.60%	83.30%	N/A
労働参加率（女性）	51.10%	52.10%	51.50%	51.70%	N/A

貿易収支（百万リンギ）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
輸出	77,354	97,559	99,913	100,592	77,203	101,789
輸入	39,737	40,090	44,805	44,583	40,873	49,084
貿易収支	37,617	57,469	55,108	56,009	36,331	52,705

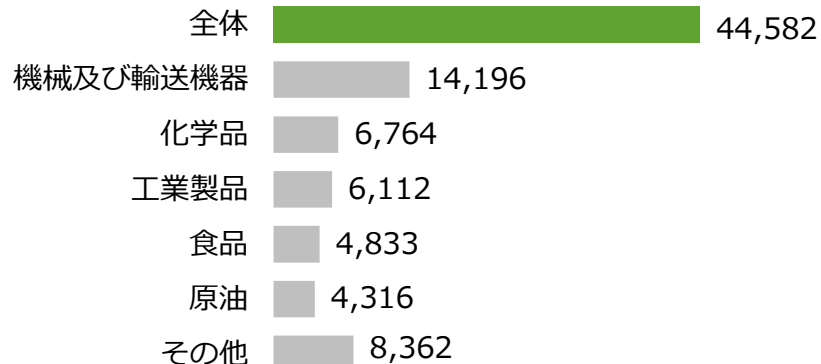
4 | 経済指標一輸出入（サラワク州）

輸出上位5品目（百万リンギ）



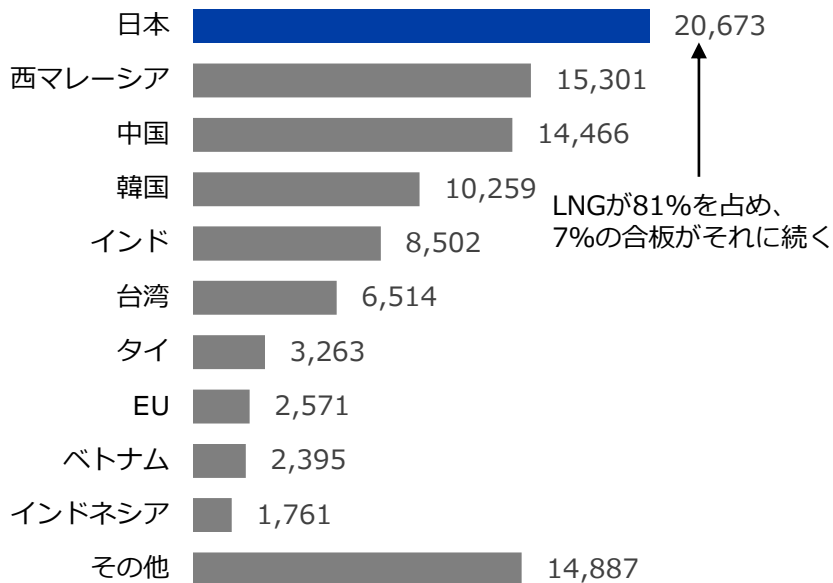
(注) マレー半島部とサラワクへの輸出を含む

輸入上位5品目（百万リンギ）



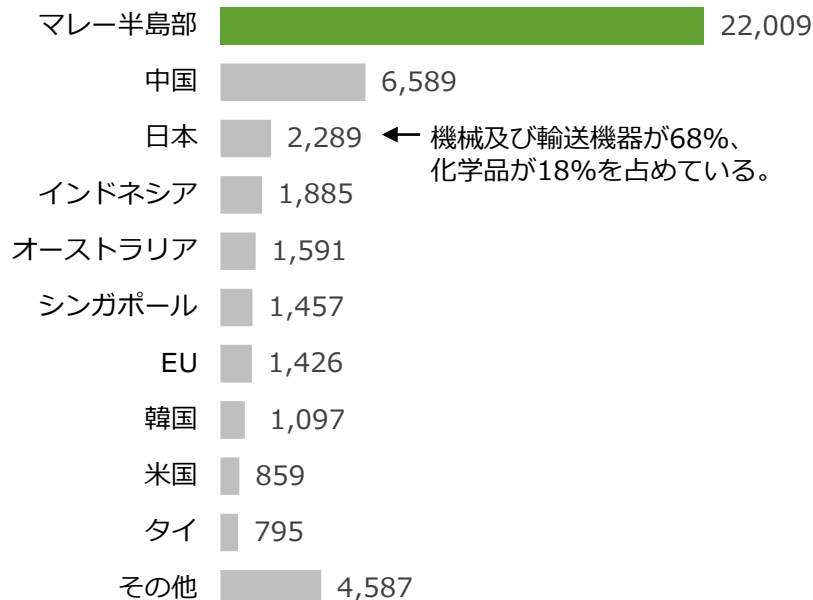
(注) マレー半島部とサラワクへの輸出を含む

輸出相手国・地域上位10カ国（百万リンギ）



(出所) マレーシア統計局

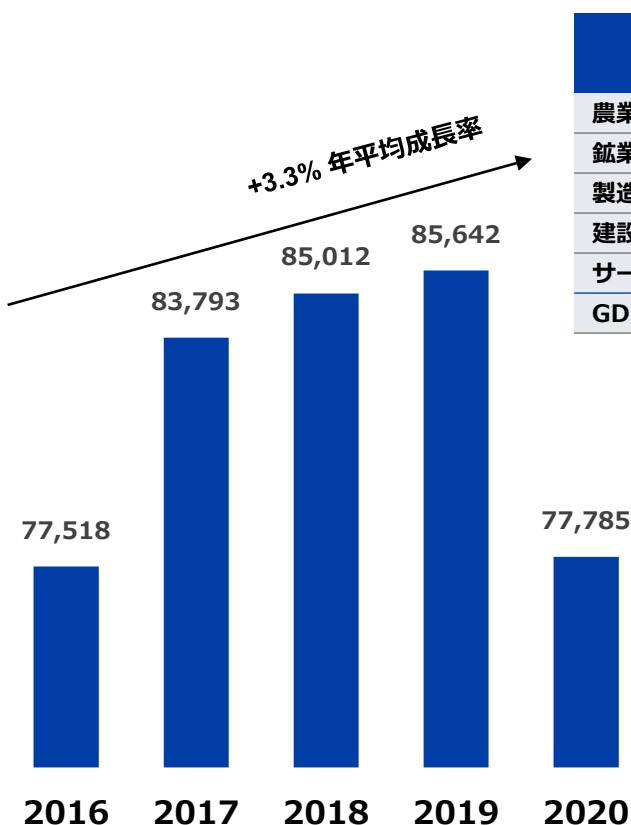
輸入相手国・地域上位10カ国（百万リンギ）



4 | 経済指標—GDPなど（サバ州）

- 観光（サービス）はGDPに最も貢献、次いで鉱業/採石（石油とガス）と農業（パーム油）が続く。州政府は、現在の5%から、10年後に製造業からの30%の貢献を目指している。
- 年平均成長率は3%前後。2018年と2019年のGDP成長率は、商品価格の低下及び政治不確実性に起因して減速した。

実質GDP成長率（百万リンギ、2015年基準） **産業別実質GDP成長率**（百万リンギ表示、2015年基準）



産業	2016	2017	2018	2019	2020	CAGR 16-19	CAGR 16-20	構成比 2020
農業	13,255	13,883	13,836	13,719	12,797	1.20%	-0.88%	16%
鉱業・採石業	21,992	25,441	23,994	22,736	19,936	0.80%	-2.42%	26%
製造業	6,037	6,362	6,514	6,472	6,042	2.40%	0.02%	8%
建設業	2,357	2,322	2,918	3,099	2,197	9.50%	-1.74%	3%
サービス業	33,575	35,434	37,423	39,428	36,544	5.50%	2.14%	47%
GDP	77,518	83,793	85,012	85,642	77,785	3.30%	0.09%	100%

失業率及び労働参加率

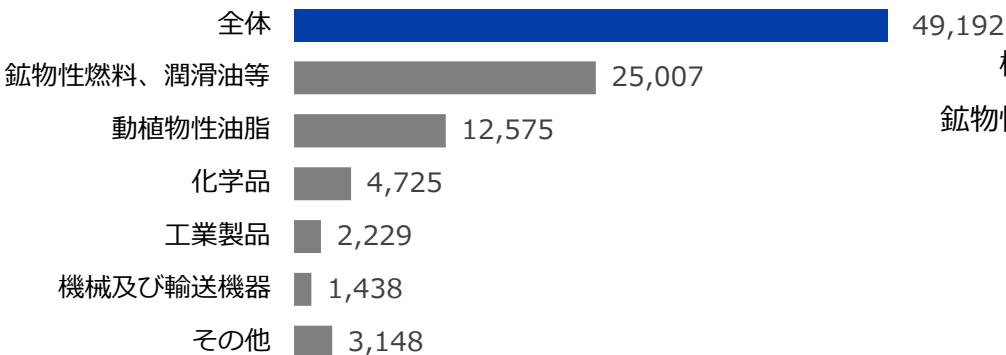
	2016	2017	2018	2019	2020
失業率	5.40%	5.60%	5.80%	5.80%	8.00%
労働参加率（全体）	70.80%	68.40%	68.20%	70.00%	70.00%
労働参加率（男性）	N/A	N/A	N/A	85.90%	N/A
労働参加率（女性）	N/A	N/A	N/A	52.50%	N/A

貿易収支（百万リンギ）

	2016	2017	2018	2019	2020	2021
輸出	41,379	51,707	56,466	49,192	41,337	55,665
輸入	28,942	28,714	30,658	35,342	38,090	31,570
貿易収支	12,437	22,993	25,808	13,850	3,246	24,094

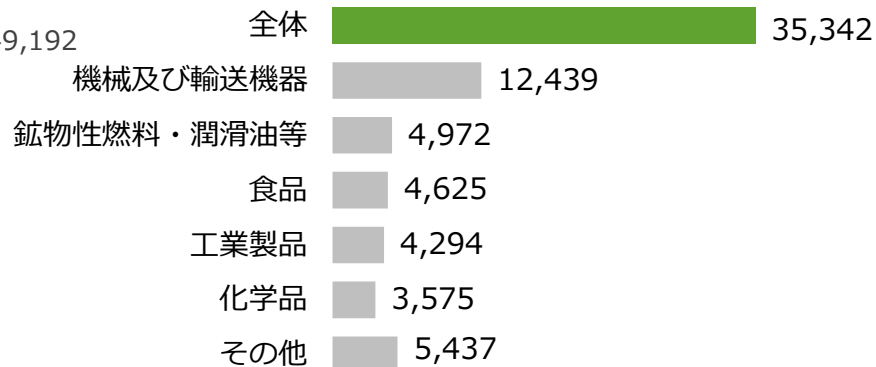
4 | 経済指標—輸出入（サバ州）

輸出上位5品目（百万リンギ）



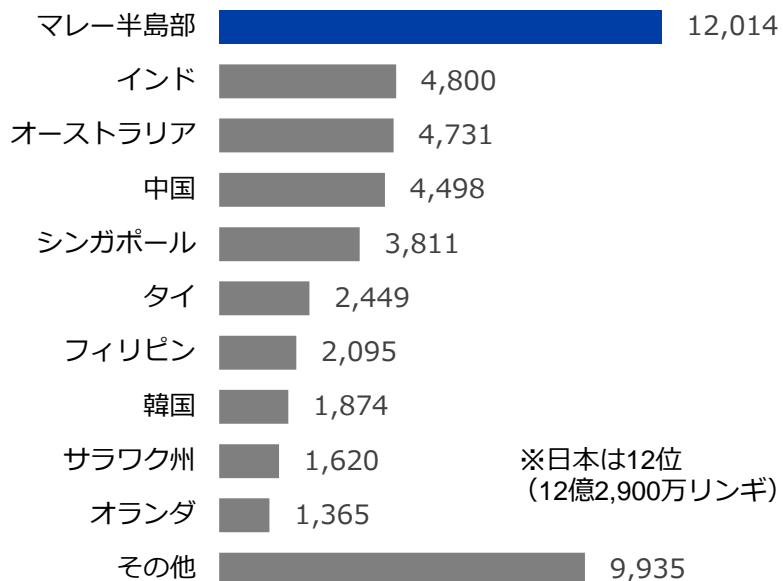
(注) マレー半島部とサラワクへの輸出を含む

輸入上5品目（百万リンギ）



(注) マレー半島部とサラワクへの輸出を含む

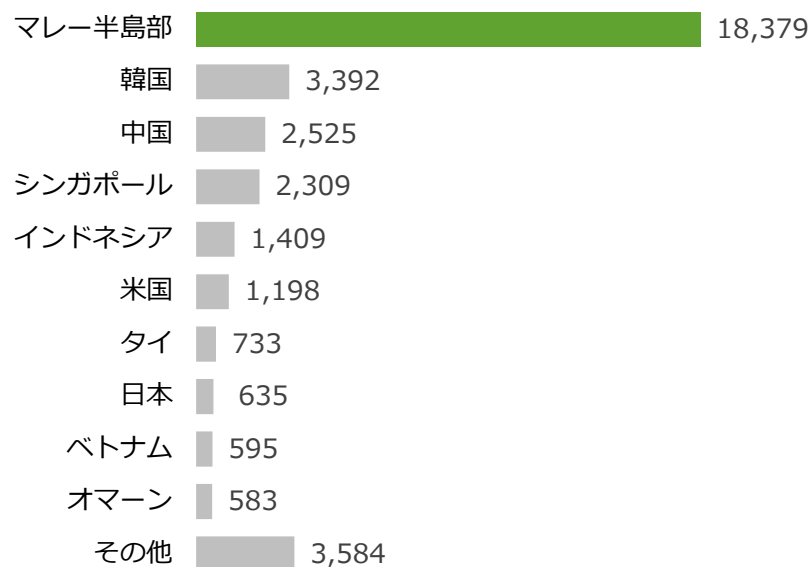
輸出相手国・地域上位10カ国（百万リンギ）



※日本は12位
(12億2,900万リンギ)

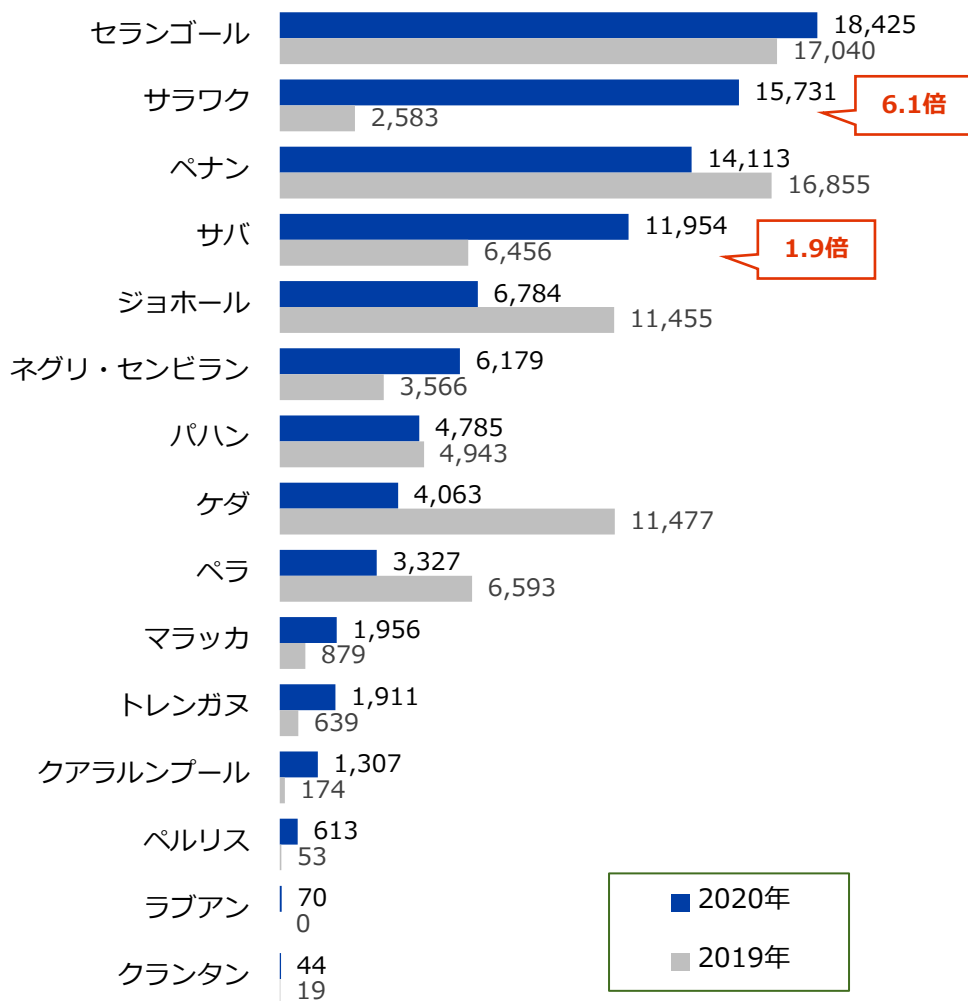
(出所) マレーシア統計局

輸入相手国・地域上位10カ国（百万リンギ）



4 | 経済指標—製造業外国投資認可額

州別外国投資認可額（百万リンギ）
【2019～2020年】



サラワク州及びサバ州外国投資認可額
（百万リンギ）

	2019年			2020年		
	新規	拡張	合計	新規	拡張	合計
サラワク	1,720	862	2,583	15,612	119	15,731
サバ	6,320	137	6,456	11,728	226	11,954

サラワク州及びサバ州の主な外国投資案件
（2020年）

<サラワク州>

- Taiyo Yuden (Sarawak) Sdn Bhd 日本 (太陽誘電)
- HGST Malaysia Sdn Bhd 米国 (Western Digital)
- IMM Technology Sdn Bhd 韓国 (Iljin)
- LONGi Kuching Sdn Bhd 中国 (LONGi)

<サバ州>

- SK Nexilis Malaysia Sdn Bhd 韓国 (SK Nexilis)

5 | 東マレーシアの重点産業分野

- サラワク州、サバ州ともに、連邦政府が定める5つの大型開発計画の対象地域となっている。

サラワク州

サラワク再生可能エネルギー回廊（SCORE）

- 州政府は、7つの経済セクターと6つのイネーブラー要素で構成されるPost Covid-19 Exit Economic Strategy 2030を策定した。
- **鉱業と下流の探査** - 石油とガス、石炭、ケイ砂、石灰岩、その他の資源の活用
- **農業** - テクノロジーとAIを活用して生産性を向上させる商業化と近代化に焦点を当てる（精密農業、IoT、R&Dなど）
- **製造業** - 特にハイテク、重工業、資源および非資源ベースの下流産業における付加価値および下流の処理活動に焦点を当てる
- **林業** - 重要なイニシアチブは積極的な工業用森林プランテーションです。荒廃した地域の再植林；森林管理慣行の国際認証
- **観光** - レジャー観光を超えた他の観光商品への多様化に焦点を当てる
- **再生可能エネルギーと水素、バイオマス、太陽エネルギーの可能性**
- **サービス**

サバ州

サバ開発回廊（SDC）

- 2008年に発足したサバ開発回廊（SDC）は、州の資源の持続可能な管理を確保しながら、サバの経済の成長を加速し、都市と農村の格差を埋めることを目的としている。
- SDCは、2016年に実装の第3フェーズに入り、特にサービス、イノベーション主導、知識集約型の業界で、新しい成長分野への質の高い投資を呼び込むために、より焦点を絞ったターゲットを絞ったアプローチを採用した。
- **農業** - 養殖、アグロバイオテクノロジー、バイオマス等
- **パーム油** - 特に下流処理への投資
- **観光**
- **製造業** - 特にグリーンテクノロジー及び電気自動車
- **物流** - コタキナバル空港のセパンガルコンテナ港の拡大（貨物と乗客）
- **石油・ガス**
- **高等教育**

6 | 東マレーシアにおける有望分野（1）

分野	資源	ビジネスチャンス
エネルギー集約型産業 （サラワク州）	<ul style="list-style-type: none"> • Sarawak Corridor of Renewable Energy（SCORE）地域におけるBakunダム水力発電プロジェクト（2011年より稼働）及び Murum 水力発電プロジェクトと合わせて、サラワク州では2025年までに7,400MWの発電能力を持つ見込み。 	<ul style="list-style-type: none"> • サマラジュ工業団地は、鉄鋼やフェロアロイ、アルミニウム、ガラス、石油やガスなどのエネルギー集約型産業の受け入れに重点を置いている。
パーム油 （サラワク州、サバ州）	<ul style="list-style-type: none"> • インドネシアに次ぐ世界第2位のパーム油生産国であり、世界の生産量の26%、輸出量の34%を占めている。 • 東マレーシアがマレーシアの590万ヘクタールのパームヤシ栽培地域の半分以上（53%）を占めているため、供給に近接している。 <p>＜サラワク州＞ パームヤシの栽培面積：154万ヘクタール パーム油工場数??：130 パーム油製油所数：10</p> <p>＜サバ州＞ パームヤシの栽培面積：159万ヘクタール パーム油工場数??：81 パーム油製油所数：7 （出所）マレーシア統計局</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 州政府は、下流処理施設の開発、オレオケミカル、バイオディーゼル、PKS、副産物への投資を推進。 • 連邦および州のインセンティブ、研究開発（R&D）への補助金 • 確立されたサプライチェーン • 州政府による開発の推進。 <p>＜開発集中エリア＞ サラワク州：ビントウル、タンジョン・マニス サバ州：サンダカン、タワウ、ラハッタトゥ</p>

6 | 東マレーシアにおける有望分野（2）

分野	資源	ビジネスチャンス
バイオマス (サラワク州、サバ州)	<ul style="list-style-type: none">マレーシアは年間1億6800万トンのバイオマスを生産している。94%の原料はパーム油であり、残りの6%は木材、米などの農林業副産物で生産されている。林業および農業に由来するバイオマスの生産可能性を提供している。例えば 水田廃棄物である。各州のバイオマス産業開発行動計画によると、サラワク州は600万トン、サバ州は500万トンの乾燥バイオマスの可能性あり。	<ul style="list-style-type: none">パームバイオマスの生産のため、全国で、11.4億リングに相当する合計14のプロジェクトが2019年に承認された。地場中小企業では、外国企業からの技術導入・ノウハウを求める声も。 <p><開発集中エリア></p> <ul style="list-style-type: none">サラワク州：ビントウル、タンジョン・マニス、クチン、サマラジュサバ州：ラハッタトゥ、サンダカン、タワウ、ラブック・スグット

6 | 東マレーシアにおける有望分野（3）

分野	資源	ビジネスチャンス
バイオテクノロジー （サラワク州）	<ul style="list-style-type: none"> 1997年、州政府はサラワク生物多様性センター条例を制定し、翌年、州の生物多様性の保全、利用、保護、持続可能な開発のためのプログラムを開始するためにサラワク生物多様性センター（SBC）を設立した。 2019年、州はコタ・サマランにSBCを通じて最初のバイオ工業団地を設立すると発表した。100エーカーの工業団地は、農業と生物多様性資源に焦点を当てた生物関連製品を生産するための新しい投資流入を目指す。 	<ul style="list-style-type: none"> 州では、食品の香料や着色料、薬用化粧品、医薬品などの製品を商品化するための外国投資誘致に期待。
バイオテクノロジー （サバ州）	<ul style="list-style-type: none"> 州政府は2008年にサバ生物多様性センター（SaBC）を設立した 2016年、コタキナバル工業団地（KKIP）とマレーシアバイオテクノロジーコーポレーションは、バイオテクノロジーハブを設立し、バイオベースおよびバイオテクノロジーベンチャーへの国内外の投資家にKKIPを推進することに合意した。KKIPは8,320エーカーの面積を占め、主要な大学や研究機関が位置するサバ州の知識回廊内にある。 	<ul style="list-style-type: none"> パーム油、バイオマス、アグロバイオテクノロジー、グリーンテクノロジー。 サバ州は、州の豊かな生物多様性に焦点を当てた外国投資誘致を目指す。 最大のパーム農園を持つ州として、パーム由来のバイオテクノロジー産業誘致にも期待。

7 | バイオマス分野における主なプロジェクト

会社名	事業
Green Pellet (Sarawak) Sdn Bhd (サラワク州)	<ul style="list-style-type: none">• ビントウルに位置。Green Pelletは、年間12万トンの工場により、ペレット、パレットブロック、コアプラグなどの圧縮木材製品を生産している。• サラワク木材産業開発公社、スウェーデンのCellmark ABと地元投資家の合併。• 木質ペレットを韓国と日本に輸出している。• ホームページ：https://www.greenpellet.com.my/
Cipta Briquettes Sdn Bhd (サラワク州)	<ul style="list-style-type: none">• ビントウルの3つの工場で50,000トンを超える生産能力を持ち、おがくずのブリケット、枕状のブリケット、ペレットなどのバイオマス製品を生産している。• 製品は日本、韓国、オーストラリア、ヨーロッパ、アメリカ、中東に輸出されている。• ホームページ：http://www.cipta.com.my/v2/source/home.htm
Biomass Renewable Resources Sdn Bhd (サラワク州)	<ul style="list-style-type: none">• サラワク州でのバイオブタノール工場の建設を検討するために、韓国の会社GS Caltex（韓国に3,500店舗のガソリンスタンドを所有）とMOUを締結した。• ホームページ：https://www.biomassrenewable.com/
Biomass Green Technology Sdn Bhd (サバ州)	<ul style="list-style-type: none">• バイオブタノール工場の建設を検討するために、韓国の会社GS Caltex（韓国に3,500店舗のガソリンスタンドを所有）とMOUを締結した。• ホームページ：なし

7 | バイオテクノロジー分野における主なプロジェクト

会社名	国籍	事業
Mitsubishi Corporation (サラワク州)	日本	<ul style="list-style-type: none"> 三菱商事とSBCは、2012年10月より現地の有用な藻類の収集&実用化を目指すプロジェクトを開始。 バイオ燃料、栄養補助食品、バイオマス原料の生産に多様な用途を持つ潜在的な固有の微細藻類株を培養。
GS Caltex Corp. (サラワク州)	韓国	<ul style="list-style-type: none"> 期限切れのパームの幹からサラワクで抽出された樹液の栄養源として使用するための適合性評価を実施。
Genting Integrated Biorefinery Sdn Bhd (サバ州)	マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> 2014年に、米国企業との合併で、サバ州ラハダトゥのパーム油産業集積地（P O I C）で、パーム油を原料とするバイオ燃料工場の操業を開始した。年産能力は20万トン。 2020年、同合併会社の全株式を取得。
Baden Research Lab (サバ州)	ドイツ	<ul style="list-style-type: none"> コタキナバルにアジアの研究ハブを設立。 バイオ再生の研究開発、製品テスト、特に再生医療、組織および細胞工学におけるDNAテスト、および応用バイオテクノロジーを提供している。
YSG Bioscape Sdn Bhd (サバ州)	フランス	<ul style="list-style-type: none"> フランスの研究開発機関であるCIRADによる植物バイオテクノロジー研究所として知られる共同研究プロジェクト。 YSG Bioscapeは、州政府の財団Yayasan Sabahの下で設立され、大規模プランテーション向けのチークとアカシアのハイブリッドの選択された優れた遺伝子型の組織培養苗木の大量生産を専門としている。

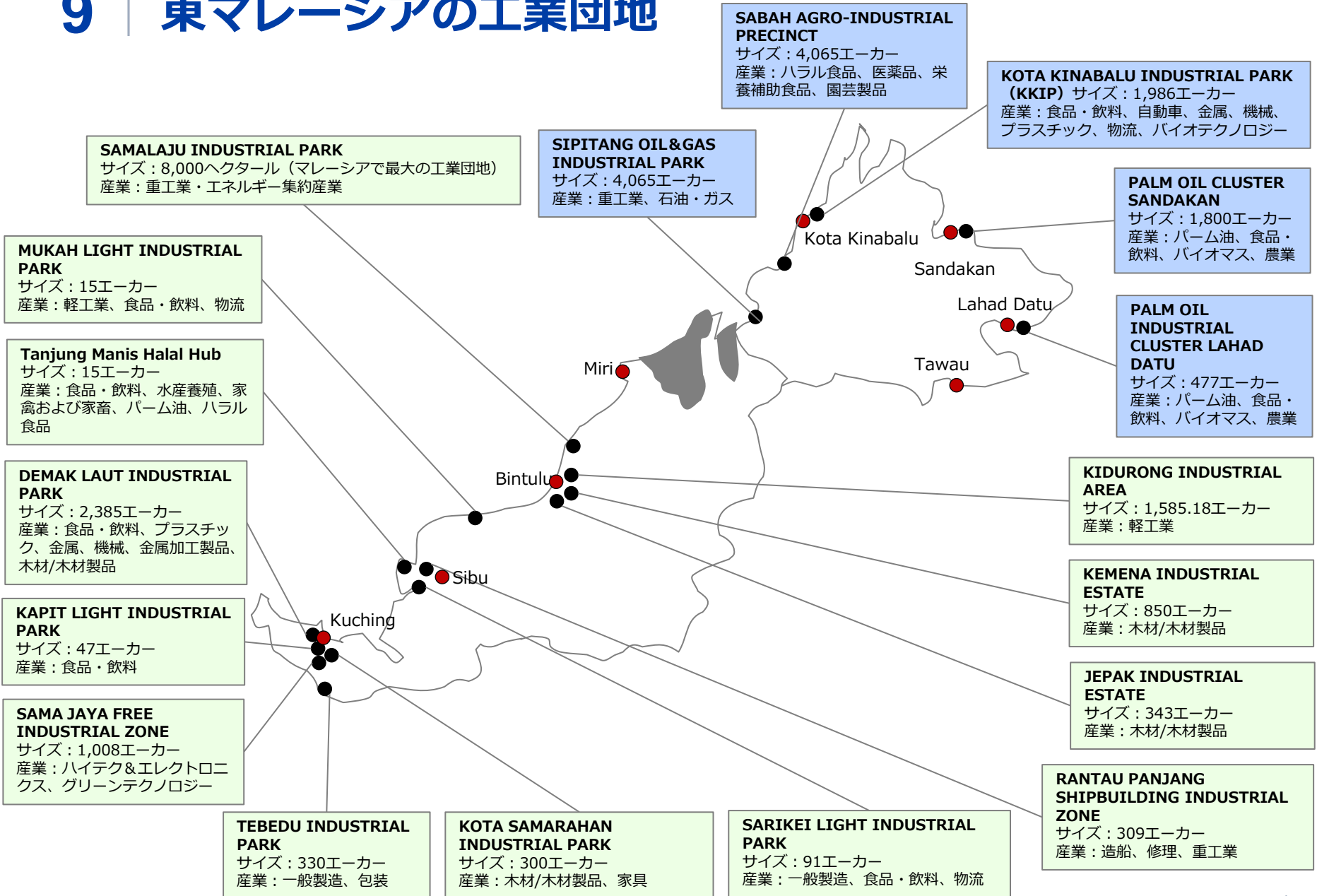
8 | 東マレーシアにおける主な投資インセンティブ（1）

インセンティブ	主な内容
<p>サラワク再生可能エネルギー回廊（SCORE）</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） • 国内市場向けのサラワク州での製造プロジェクトは、サラワク州で調達しない原材料・部品の完全な輸入税の免除。 • 籐および木質製品（合板、製材、単板を除く）の輸出で発生した運賃の二重控除の対象。 • 工業用地の購入に対する最小限の頭金。 • 工業用地の購入に対する柔軟な支払い条件。 • 対象地域のURL: https://www.recoda.com.my/score-areas/
<p>コタキナバル・ゴールドコースト・エンクレーブ Kota Kinabalu Gold Coast Enclave (KGCE) ※サバ開発回廊（SDC）</p>	<p><観光プロジェクト></p> <ul style="list-style-type: none"> • 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） • 輸入関税・売上税の免除 • 開発のために取得した土地の印紙税の免除 <p><クリエイティブクラスター></p> <ul style="list-style-type: none"> • 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） • 輸入関税・売上税の免除 • 対象地域のURL: https://www.sedia.com.my/SDC_Incentives.html

8 | 東マレーシアにおける主な投資インセンティブ（2）

インセンティブ	主な内容
<p>シピタン石油ガス工業団地 Sipitang Oil & Gas Industrial Park (SOGIP) ※サバ開発回廊 (SDC)</p>	<p><製造業（中規模重工業）></p> <ul style="list-style-type: none"> 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） <p><造船および修理産業></p> <ul style="list-style-type: none"> 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） 対象地域のURL： https://www.sedia.com.my/SDC_Incentives.html
<p>Integrated-livestock Valley and Palm Oil Industrial Cluster ※サバ開発回廊 (SDC)</p>	<p><製造業></p> <ul style="list-style-type: none"> 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） 対象地域のURL： https://www.sedia.com.my/SDC_Incentives.html
<p>サンダカン教育ハブ／海洋統合クラスター Sandakan Education Hub and Marine Integrated Cluster ※サバ開発回廊 (SDC)</p>	<ul style="list-style-type: none"> 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） 機械設備への輸入関税と売上税の免除 対象地域のURL： https://www.sedia.com.my/SDC_Incentives.html
<p>サバ農業管区 Sabah Agro-Industrial Precinct</p>	<p><ハラル製品の生産></p> <ul style="list-style-type: none"> 法定所得の100%の10年間の所得税免除（パイオニアステータス）または法定所得の100%に対する適格資本支出の相殺に関する5年間の投資税額控除（ITA） 対象地域のURL： http://www.etawau.com/Agriculture/Agro_SAIP.htm

9 | 東マレーシアの工業団地



10 | インフラプロジェクト

2021年予算では、公共投資などに充てられる開発支出690億リンギのうち、サラワク州には45億リンギ、サバ州には51億リンギを配分。

- 2020年予算の下で、旧与党（希望連盟）はサラワク州には44億リンギ、サバ州には52億リンギを開発支出のために配分した。これは、2018年の予算で、前政権（国民戦線）が割り当てた額の約3倍であり、当時の最高記録であった。以降、同水準の開発支出が配分されている。

国家予算における東マレーシアのシェア（10億リンギ）

	2019年予算	2020年予算	2021年予算
開発支出			
マレーシア	54.7	56.0	69.0
サラワク州	4.3	4.4	4.5
サバ州	5.0	5.2	5.1
開発支出におけるシェア			
サラワク州	7.9%	7.9%	6.5%
サバ州	9.1%	9.3%	7.4%

10 | 進行中の主なインフラプロジェクト（2021年9月現在）

■ サラワク州でのプロジェクト（2021年連邦予算）

プロジェクト	予算規模
パン・ボルネオ高速道路	60億リンギ
クチン都市交通システム	3億8400万リンギ
サマラジュ工業団地のインフラプロジェクト（SCOREの一環）	7億8000万リンギの一部
道路と橋の建設	12億7000万リンギ
沿岸道路の改修	50億リンギ
水グリッドプログラム	28億リンギ
地方電化プロジェクト	24億リンギ
通信塔	10億リンギ

■ サラワク州でのプロジェクト（2021年州政府予算）

98億リンギ予算のうち60億リンギが開発に割り当てられた。

プロジェクト	予算規模
サラワク沿岸道路ネットワーク	11億5000万リンギ
第二幹線道路	4億9400万リンギ
内部地域へのアクセスを促進するインフラ開発	16億9000万リンギ
サマラハン統合開発庁	7億9,200万リンギ
ラワス～リンバン道路	4億3000万リンギ
農村変革プロジェクト	4億リンギ

■ サバ州でのプロジェクト（2021年連邦予算）

プロジェクト	予算規模
パン・ボルネオ高速道路	38億リンギ
セパンバー湾コンテナ港の拡大	3,400万リンギ
道路と洪水の修理	1億5000万リンギ
校舎の改修	N/A
地方電化プロジェクト	N/A
地方給水プロジェクト	5億3000万リンギ
鉄道システムの改修	8200万リンギ

■ サバ州でのプロジェクト（2021年州政府予算）

プロジェクト	予算規模
鉄道システムの改善	1億6200万リンギ
スポーツ振興	
下水道の改善	
道路維持	

11 | 東マレーシアの主要な地場企業（1）

会社名	事業
Cahaya Mata Sarawak Berhad (サラワク州)	<p>事業：建設、セメント、建設資材、不動産、道路整備、林業、ICT</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サラワク州で最も有力な複合企業の1つ。 ・マレーシア証券取引所に上場。 ・子会社であるSamalaju Industries Sdn Bhdは、サラワク再生可能エネルギー回廊（SCORE）の計画を主導。 ・サラマジュ工業団地へのタウンシップ開発、エネルギー集約型産業投資を行っている。 ・ホームページ：https://www.cmsb.my/
Rimbunan Hijau Group (サラワク州)	<p>事業：多林業、ICT、ホテルと観光、不動産開発、貿易と小売、プラスチック製造、水産養殖、鉱業、バイオテクノロジー、保険</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1975年、シブ出身のTan Sri Tiong Hiew Kingによって設立。 ・サラワク州に広大な林業とパームのプランテーションを持つ。 ・Media Chinese International Ltdを通じて、国内の主要中国語新聞をコントロール。 ・ホームページ：http://rhg.com.my/rhg_v2/en/welcome/
KTS Group (サラワク州)	<p>事業：木材、プランテーション、メディア、エビ養殖、造船、食品、ガラスシリカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・Dato Seri Lau Hui Kangによって設立され、木材、プランテーション、メディア業界の主要プレーヤーとして知られる。 ・See Hua Daily News（東マレーシアで最も発行部数の多い中国語新聞）、Borneo Post、Utusan Borneo、Oriental Daily Newsなどのメディア出版物をコントロールしている。 ・ホームページ：http://www.ktstrade.com.my/main.htm

11 | 東マレーシアの主要な地場企業（2）

会社名	事業
Sarawak Consolidated Industries Bhd (サラワク州)	<p>事業：建築材料、不動産、建設、再生可能エネルギー、石油・ガス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレキャストコンクリート製品、工業化建築システム、屋根瓦の最大のメーカー。 ・不動産およびインフラ事業も行っており、中東（カタール、オマーン）にも事業展開。 ・ホームページ：http://scib.com.my/live/home.html
Samling Group (サラワク州)	<p>事業：林業および木質製品、パームプランテーション、インフラストラクチャ、建設、不動産</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページ：http://www.samling.com/
Sarawak Timber Industry Development Corporation (STIDC) (サラワク州)	<p>事業：林業および木材産業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・サラワク州で計画されている木材産業の拡大を担当する政府関連企業。 ・サラワク州の木材産業およびバイオマス産業に参入する外国企業の潜在的な合併パートナー。例) スウェーデンのCellmark ABとGreen Pellet (Sarawak) Sdn. Bhdを設立。 ・ホームページ：https://www.sarawaktimber.gov.my/
Dayang Enterprise Holdings Bhd (サラワク州)	<p>事業：石油・ガス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1980年、オフショア石油およびガス産業への人材の供給を最初の事業として設立。 ・保守サービス、製造作業、接続、試運転、および船舶のチャーターを含むように拡張された。 ・ホームページ：https://www.desb.net/

11 | 東マレーシアの主要な地場企業（3）

会社名	事業
KKB Engineering Bhd (サラワク州)	事業：鉄鋼製造、鋼管、LPGボンベ <ul style="list-style-type: none">1962年鉄鋼製造事業で設立。その後、鋼管およびLPGシリンダーの製造に拡大。ホームページ：https://www.kkbeb.com.my/home/
Press Metal Aluminium Holdings Bhd (サラワク州)	事業：アルミニウム <ul style="list-style-type: none">1986年に地元のアルミニウム押出会社として設立。東南アジアにおいて世界最大級のアルミニウム生産企業。マレーシア証券取引所に上場。日本の住友商事が出資。ホームページ：http://www.pressmetal.com/
Amcan Group of Companies (サラワク州)	事業：スチール屋根、スチールロールロールフォーマー、コイルコーター <ul style="list-style-type: none">1983年に設立。塗装済みスチール屋根および壁被覆製品を製造している。アジア全域からシンガポール、ブルネイ、インドネシア、ミャンマー、インドなどに輸出。日本の淀川製鉄所とスウェーデンペイントシステムの協力により、コイル状の塗装済み鋼板に拡大し、同社をロールフォーマーからコイルコーターに変革。ホームページ：https://www.amcangroup.com/
YKGI Holdings Bhd (サラワク州)	事業：鉄鋼材 <ul style="list-style-type: none">1997年にクチンに設立、鉄鋼材料の製造、貿易、サービスを行っている。ホームページ：http://ykgigroup.com/
Zecon Bhd (サラワク州)	事業：建設、インフラ、不動産、水、ヘルスケア、石油、ガス <ul style="list-style-type: none">ホームページ：https://www.zecon.com.my/

11 | 東マレーシアの主要な地場企業（4）

会社名	事業
Sarawak Palm Oil Bhd (サラワク州)	<p>事業：パームプランテーション、食用油、栄養補助食品、食品、不動産開発</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ：https://www.sop.com.my/
Woodman Group of Companies (サラワク州)	<p>事業：パームプランテーション、バイオ肥料、海運、造船所、炭鉱、観光、教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1982年に木材事業で設立、パームのプランテーションに参入。 ・ ホームページ：https://www.woodman.com.my/
Ta Ann Holdings Bhd (サラワク州)	<p>事業：林業および木質製品、パームプランテーション、物流、家具</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページ：https://www.taann.com.my/
CCK Consolidated Holding Bhd (サラワク州)	<p>事業：家禽、動物飼料、食品加工、小売業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 飼料工場、ブリーダーファーム、孵化場、ブロイラーファーム、レイヤーファーム、食肉処理場、小売店などの統合したサプライチェーンを持つ。 ・ 東マレーシアでトップ3に入る大手動物飼料サプライヤー。 ・ ホームページ：http://www.cck.com.my/en
Sabah Softwoods Bhd (サバ州)	<p>事業：林業、パームプランテーション、木材チップ、下流肥料事業、再生可能エネルギー（バイオガス）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ヤヤサンサバグループ（州営財団）の投資部門が過半数を所有。 ・ ホームページ：http://www.softwoods.com.my/

11 | 東マレーシアの主要な地場企業（5）

会社名	事業
Eng Peng Group (サバ州)	<p>事業: 農業、動物飼料、冷凍食品</p> <ul style="list-style-type: none"> 動物飼料、家禽、冷凍食品のサプライヤー。 東マレーシアでトップ3に入る大手動物飼料サプライヤー。 ホームページ: https://engpeng.com.my/
Kim Loong Resources Bhd (サバ州)	<p>事業: パームプランテーション、再生可能エネルギー</p> <ul style="list-style-type: none"> パーム油プランテーション会社はマレーシア証券取引所に上場している。 ホームページ: http://www.kimloong.com.my/usr/page.aspx?pgid=2
PETRONAS (サバ州)	<p>事業: 石油・ガス</p> <ul style="list-style-type: none"> 本社はクアラルンプール 東マレーシア全体の上流、中流、下流の石油およびガス事業に幅広く関与している。 ホームページ: https://www.petronas.com/
Hap Seng Consolidated (サバ州)	<p>事業: パームプランテーション、不動産、クレジットファイナンス、自動車（メルセデスベンツ）、貿易、建築資材</p> <ul style="list-style-type: none"> パームプランテーションは、主にサバ州ラハツ・ダトゥにある。 ホームページ: https://www.hapseng.com.my/en/
Genting Plantations Bhd (サバ州)	<p>事業: パームプランテーション、製造、不動産、バイオテクノロジー</p> <ul style="list-style-type: none"> Gentingグループ。 プランテーションは、主にサバ州に所在し、バイオリファイナリーコンプレックスを運営。 ホームページ: https://www.gentingplantations.com/

12 | 東マレーシアに拠点を持つ主な外資系企業

会社名	国籍	業種	立地する工業団地／都市
Yanmar Kota Kinabalu R & D Center	日本	R&D	Kota Kinabalu, Sabah
SK Nexilis	韓国	Copper foil	Kota Kinabalu Industrial Park, Sabah
Sea Party Biotech Industry	台湾	Agriculture	Tanjung Manis Halal Hub, Sarawak
Sun Valley Holdings	中国	Shrimp farming	Tanjung Manis Halal Hub, Sarawak
X-FAB Silicon Foundries (formerly 1 st Silicon)	ドイツ	Semiconductors	Sama Jaya Industrial Zone, Kuching, Sarawak
Western Digital	米国	Hard drive	Sama Jaya Industrial Zone, Kuching, Sarawak
ILJIN Materials	韓国	Elect foil	Sama Jaya Industrial Zone, Kuching, Sarawak
Taiyo Yuden	日本	E&E	Sama Jaya Industrial Zone, Kuching, Sarawak
Dongjin Semichem	韓国	Foaming agent	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Asia Minerals Limited (Pertama Ferroalloys)	香港	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Nippon Denko Co. Ltd (Pertama Ferroalloys)	日本	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Shinsho Corporation (Pertama Ferroalloys)	日本	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
OM Materials	オーストラリア	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Sumitomo Corporation (Sakura Ferroalloys)	日本	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
China Steel Corp (Sakura Ferroalloys)	台湾	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Assmang Ltd (Sakura Ferroalloys)	南アフリカ	Metal	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Iwatani Corporation	日本	Industrial gases	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Project Management & Development Company	サウジアラビア	Polysilicon	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Hebei Xinquan Steel Group	中国	Steel	Samalaju Industrial Park, Sarawak
MCC Overseas Ltd	中国	Steel	Samalaju Industrial Park, Sarawak
Nippon Oil (Malaysia LNG)	日本	LNG	Bintulu, Sarawak
Mitsubishi (Malaysia LNG)	日本	LNG	Bintulu, Sarawak
Namhae Chemical Corp (ASEAN Bintulu Fertilizer Sdn Bhd)	韓国	Fertilizer/melamine	Bintulu, Sarawak
Guangken Rubber Group Co Ltd	中国	Rubber	Debak, Sarawak
Hu-Chems Fine Chemicals Corp	韓国	Chemicals	Tanjung Kidurong Industrial Area, Sarawak
Curtin University of Technology	オーストラリア	Education	Miri, Sarawak
Swinburne University of Technology	オーストラリア	Education	Kuching, Sarawak

12 | 東マレーシアにおける主な外資系企業（1）

会社名	国籍	事業
Sun Valley Holdings/Dade Group (サラワク州)	中国	<ul style="list-style-type: none"> • 地場企業のPusaka Capital Sdn Bhd (STIDC) とTM Agro Holdings Sdn Bhdは、2018年に中国のDadeGroupのSunValley Holdings Sdn Bhdとタンジュン・マニス経済成長地域で大規模プロジェクト（フェーズ1で440ヘクタールの2,300ヘクタール）養殖を設立するための覚書を締結。 • 8億900万リンギの投資予定。 • Dade Groupはそのほか、深海漁業プロジェクトのために地元の多様なグループKTS Resourceと覚書を締結した。 • ホームページ：http://www.dadegroup.com/English/in3.htm
Cosmos Chemicals Bhd (サラワク州)	サウジアラビア	<ul style="list-style-type: none"> • アジア最大級のポリシリコン製造工場で、25,000TPAの生産能力を持つ。 • Cosmos Petroleum & Mining Sdn Bhdの子会社であり、サウジアラビアのProject Management & Development Company Co.Ltdの関連会社である。 • サマラジュ工業団地に立地。 • ホームページ：なし
OM Materials (Sarawak) (サラワク州)	オーストラリア	<ul style="list-style-type: none"> • フェロアロイとマンガンを生産。 • サマラジュ工業団地で操業しており、2~4セットのマンガン合金炉の追加建設を伴うフェーズ2プロジェクトの下で拡大している。 • オーストラリアのOM Materials Holdings Ltd (75%) と政治的につながりのあるCahya Mata Sarawak Bhd (25%) の間のJV。 • ホームページ：http://www.omholdingsltd.com/
ENEOS/住友商事 (サラワク州) ※覚書締結	日本	<ul style="list-style-type: none"> • サラワク経済開発公社 (SEDC) 傘下のSEDCエネルギーと共に、再生可能エネルギーを活用したCO2フリー水素サプライチェーン構築に向けた協業検討に関する覚書を締結し、2021年1月よりフィージビリティスタディ (FS) を開始。

12 | 東マレーシアにおける主な外資系企業（2）

会社名	国籍	事業
Green Pellet (Sarawak) Sdn Bhd (サラワク州)	スウェーデン マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ・サラワク木材産業開発公社、スウェーデンのセルマークAb、地場Cahya Mata Sarawakの間の合併。2016年、ビントウルに設立。 ・ペレット、パレットブロック、コアプラグなどの圧縮木材製品を生産し、年間12万トンの生産能力。木質ペレットを韓国や日本に輸出している。 ・ホームページ：https://www.greenpellet.com.my/
Sakura Ferroalloys Sdn Bhd (サラワク州)	南アフリカ 日本 台湾	<ul style="list-style-type: none"> ・南アフリカのAssmang Ltd、日本の住友商事、台湾のChina Steel Corp間の合併。 ・推定コストが約12億リンギの製錬所は、81MVAの生産能力、年間17万トンの高炭素フェロマンガンとシリコンマンガンの設備能力を備えている。 ・2016年、サラマジュ工業団地に設立。 ・ホームページ：https://sakuraferroalloys.com.my/
Taiyo Yuden (サラワク州)	日本	<ul style="list-style-type: none"> ・太陽誘電はサラワクのサマジャヤ工業団地で事業を拡大し、スマートフォンやコンピューターに使用される多層セラミックコンデンサーを製造 ・太陽誘電はこれまでサラワク州に30億リンギを投資。21年9月に新工場設立発表。 ・ホームページ：https://www.yuden.co.jp/eu/
Guangken Rubber Group Co Ltd (サラワク州)	中国	<ul style="list-style-type: none"> ・サラワク農民組織と合併会社を設立。 ・2,000万米ドルの標準マレーシアゴム（SMR）工場を建設。 ・ホームページ：なし
Dongjin Semichem (サラワク州)	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭用品、電子機器、自動車分野で広く使用されている発泡剤の製造。 ・ホームページ：https://www.dongjin.com/en/main/
SK Nexilis (サバ州)	韓国	<ul style="list-style-type: none"> ・SKNexilisは、23億リンギの投資を投入し、KOTA KINABALU INDUSTRIAL PARK（KKIP）に、海外には初めてとなる銅箔（電気自動車用）製造工場を設立。 ・ホームページ：http://www.sknexilis.com/en/

■ ご注意

本レポートは情報提供を目的に作成したものです。できる限り正確に記載するよう努力しておりますが、その正確性を保証するものではありません。本情報の採否はお客様のご判断で行ってください。また、万一不利益を被る事態が生じても主催機関及び講師は責任を負うことができませんのでご了承ください。